

# 白浜町 議会だより

No.41

平成28年(2016)8月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



待ちに待ったプール開き（とんだ幼稚園）

## CONTENTS

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| ■ 平成28年第2回定例会         | P. 2～3   |
| ■ 一般質問（平成28年第2回定例会）   | P. 4～13  |
| ■ 議案第63号及び第68号の審議について | P. 14～15 |
| ■ 町議会・町議会議員の主な動き      | P. 16    |

# 議案第63号「土地の処分についての議決の変更について」を否決

白浜町議会平成28年第2回(6月)定例会は、6月14日招集、15日間の会期で開催されました。

当局から提案された案件は、条例改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件、報告7件、その他の案件6件、また、議会提出案件は2件でした。

議案第63号「土地の処分についての議決の変更について」は質疑、討論があり、採決の結果、賛成少数で否決しました。また、議案第68号「平成28年白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)議定」については質疑、討論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。(詳細については14～15ページをご覧ください。)

また、その他の案件についてはすべて可決承認しました。

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、10議員が登壇し、町長及び教育長に質問をしました。

## □条例改正

○白浜町公衆便所条例の一部を改正する条例

いそぎ公園公衆便所及び伊勢ヶ谷公衆便所の廃止に伴い、関係規程を改正。

## □補正予算

○平成28年度白浜町一般会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に7億4千700万円を増額し、歳入歳出予算総額を118億2千500万円

主な補正内容は次のとおり。

(単位 万円未満四捨五入)

## 【総務費】

・本庁舎耐震補強事業

1億1千190万円

・白浜ソング普及事業

50万円

・耐災害ネットワーク屋外用基地局設置事業

170万円

・国際交流事業

125万円

・ブロードバンド基盤整備ルー  
プ化事業

410万円

・防犯カメラ設置事業

214万4千円

## 【民生費】

・堅田保育園高台移転補助事業

1億3千661万3千円

## 【衛生費】

・B型肝炎予防接種事業

100万円

・源泉施設維持管理事業

500万円

・マテリアルリサイクル推進施設整備事業

1千43万円

## 【農林水産業費】

・農業振興地域整備計画策定事業

300万円

・ため池ハザードマップ作成事業

50万円

・堅田漁港機能強化事業

2億3千364万円

・堅田漁港埋立関連事業

4千354万円

## 【観光費】

・観光プロモーション映像制作事業

200万円

・スポーツ合宿等誘致補助事業

500万円

・クリフダイビング世界大会補助事業

300万円

・インバウンド受入体制強化補助事業  
300万円

・白浜町テニスコートトイレ改修事業  
230万円

### 【土木費】

・町道細野4号線改良事業  
2千650万円

・塩路第2橋橋梁整備事業  
2千160万円

・田野井排水ポンプ保管倉庫整備事業  
330万円

### 【消防費】

・消防車両更新事業  
4千397万円

・消防団車両更新事業  
1千415万円

・消防団屯所高台移転事業  
1千600万円

### 【教育費】

・日置川拠点公民館空調設備改修事業  
500万円

・白浜学童保育所建設事業  
500万円

・田野井総合運動場整備事業  
360万円

### 【災害復旧費】

・林道施設災害復旧工事  
850万円

○平成28年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に43万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を38億1千143万4千円

○平成28年度白浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に847万7千円を減額し、歳入歳出予算総額を27億6千552万3千円

○平成28年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に727万4千円を追加し、歳入歳出予算総額9千77万4千円

○平成28年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に163万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を8億3万9千円

○平成28年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に946万8千円を追加し、歳入歳出予算総額を10億442万8千円

### □物品購入契約

○塵芥車更新に係る物品購入

【数量】 塵芥車1台

【契約金額】 597万9千9円

【契約の相手】 和歌山県田辺市東山二丁目31番15号

株式会社

取締役社長 鈴木 恭一

○救助工作車更新事業(すさみ消防署)に係る物品購入

【数量】 救助工作車1台

【契約金額】 7千128万円

【契約の相手】 大阪府大阪市淀川区西宮原二丁目1番3号SORA新大阪211401室

キンパイ商事株式会社

代表取締役 松浦 英男

### □工事請負契約の一部変更

○白浜第一小学校建設等工事

工事内容及び量の変更による契約金額の増額

【契約金額】 6千521万400円を増額し、11億3千819万400円

【変更理由】 前回内容変更でアスベスト除去工事を変更した際に減らした2期解体工事及び外構工事の一部を追加

### □工事請負契約

○西富田第二学童保育所建設工事

【契約金額】 8千591万4千円

【契約の相手】 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2039番地の2

株式会社イワコー

代表取締役 岩本 隆孝

□白浜町教育委員会委員の任命について

次の方を同意しました。

・藤敷 庸一(白浜)

(敬称略)



みずかみ くみこ 議員  
水上 久美子  
（一問一答）

- ・ 患者申出療養制度について
- ・ 南海トラフ海底ひずみと地域防災見直しについて
- ・ 地域犬猫対策について



末承認薬等を迅速に保険外併用療養として使用したいという困難な病氣と闘う患者の思いに応えるため、患者からの申出を起点とする新たな仕組みとして創設されました。  
将来的な保険適用につなげるためのデータ、科学的根拠を集積することを目的としています。



（厚生労働省が発行したパンフレット）

**問** 困難な病氣と闘う患者の先進的な医療に抗がん剤等、国内では未承認薬を保険診療と併用受診できる制度を国は今年4月から施行したが保険外費用負担、治療格差や地域格差等課題がある。患者の声を課題解決につなげるために研究し、国、県に申し入れをしていくこと。また、広報でもっと周知し、一人でも多くの方が望む治療が受診できるように医療機関につなげるスキルを持って取り組むべきと考えるがいかがか。

**答** 患者申出療養については、治験終了後、その安全性、有効性等を評価し、医薬品医療機器法上の承認状況等を踏まえ、必要に応じ保険導入等についての検討がされる。患者申出療養が、保険外併用療養費制度に位置づけられたことで、費用負担においても、今後の保険導入に向け、近づいていると考えている。

**問** 南海トラフ地震想定区域内での海底ひずみの蓄積が海上保安庁から発表され、このひずみは昭和21年の南海地震の震源域の沖合でも蓄積されており、南海トラフ地震の前兆との見解もあり、心配する。町が得ている情報と新たな想定から今後の防災、減災にどう反映させていけるのか。

**答** 海上保安庁の研究結果やさまざまな情報、国の動向については十分に注視し、国、県、町が連携したなかで有効な防災、減災の施策を展開して取り組みを進めていく。自助、共助の発展のための啓発、支援に取り組んでいく。

**問** 広域での甚大な被害を想定し、遠隔地との防災協定の必要性を数年前に提言したがまだできていない。早急に実施できないのか。

**答** 遠隔地の協定は、さまざまな分野、視点から物事を考えていく必要がある。



たまき はじむ  
議員  
(一問一答)

- ・町有地の利活用について
- ・上水道事業の今後の取り組み
- ・観光活性化の方針について
- ・T P Pを踏まえた農業活性化について

**問** 現在、町の所有している土地の保全、活用について、現在とは違った形で利用する考えはないのか。

**答** 町有財産の利活用については、適正な管理運営を行いながら、どのような活用方法があるのか、所管課だけではなく、議員や住民の皆様の意見も参考にするなど、その活用方法を考えたい。

**問** 今後、起こるといわれる南海、東南海地震に備える水道施設の耐震化を急ぐべきだと思う。今後、前倒しで整備しないと被災後では整備が一層困難になると思うがいかがか。

**答** 水道施設の耐震化は、命の水を確保することにつながり、その対策は急務であると考えている。また、短期間での耐震化工事については、財政上、人的対応

にも厳しい状況ではあるが、長期的な視野に立つて対策を講じ、整備をすすめていきたい。

**問** 現在、「白浜温泉街活性化構想推進計画」が策定され、観光の問題点をあぶり出し、問題の解決をはか

ろうとしているが、具体的な取り組みはいかがか。

**答** 「白浜温泉街活性化構想推進計画」（重点施策11、基本施策24）を策定した。観光振興（温泉、スポーツ合宿等）の活性化策の内容が含まれている。事業を短



(活性化策が期待される白浜温泉街)

期、中期、長期にわけ、優先順位をつけ、取り組む。

**問** T P Pについては、日本国内では議論が落ち着いているが、アメリカでは議論が盛り上がっている。今後、日本への圧力が強まるのではと懸念する。その状況下で、今後、町内の農業をどう守り、発展させていくか。例えば、地域の産品を観光客等地域外の人々に消費してもらうか。また、観光農園等農業と観光を融合させ、生産性を高める方法等積極的に取り組んではどうか。

**答** 紀南地域では観光農園がほとんどなく、果樹も含めてやれば、まだまだお客様を呼べると思っている。行政、農協、農家が一体となつて取り組む必要がある。ので、関係者に提言し、議論をしていきたい。

- ・町長の政治姿勢について
- ・南方熊楠について



ながの そういち  
長野 荘一 議員  
(一問一答)

**問** 昨年、近畿自動車道紀勢線が開通した。新たに白浜温泉街に道の駅の登録をすれば、白浜温泉、椿温泉、日置川温泉の新たな観光メニューができると思う。また、国道42号線沿いの観光客の誘致に早急に取り組みなければいけないと思うがいかがか。

**答** 「白浜温泉街活性化構想推進計画」の施策のひとつに温泉街の道の駅の登録をあげている。温泉街で登録できれば、椿、日置川と町内3つの温泉地を連携させることができ、観光振興につながると考える。

**問** 議員に当選させていただいた6年前から取り組んでいるJR白浜駅のエレベーター設置に向けた現時点での取り組み状況、進捗状況を問う。

**答** 今年度における取り組み状況では、事業者であるJRに対し、整備に向けた協議の申し入れを行うとともに、県に対しては、国や県の補助制度や県内の整備状況などの協議を行ったところである。

**問** 町のITビジネスオフィスが満室となっているが、今後の企業誘致を進めるためにも、新たな誘致スペースの確保を早急に進めていかなければならないと思うがいかがか。

**答** 現在、ITビジネスオフィスは満室の状況であり、新たな企業誘致に対応できないことから、県とも連携をはかり、新たなオフィスを含めた誘致スペースの確保を検討し、白浜への企業誘致を更に進めていきたい。

**問** 和歌山が生んだ博物学の巨星である南方熊楠の記念館の整備事業の式典、あるいは、生誕150年を記念して内外に広くPRしていく事業等の計画を考えてはいかがか。

**答** 現在、新館が建設中であり、新しくなる記念館をPRすることは町の観光の魅力につながる。完成すれば、記念館、番所山公園が一体となつての記念イベントができないか考えていきたい。



(南方熊楠記念館新館完成予想図)



ひろはた としお 議員  
廣畑 敏雄  
(一問一答)

## ・介護保険総合事業について

**問** 要支援1、2の該当者を介護保険の給付から切り離し、町事業として実施する地域支援事業。現状と進捗状況はいかがか。

**答** 地域支援事業の各事業の取り組み状況については、現在、圏域の市町の担当者と情報交換会を行っており、今後も圏域市町と情報共有をしながら、事業の円滑な開始、移行に向けた取り組みを進めていきたい。

**問** 要支援1、2の方のデイサービスやホームヘルプサービスを利用している方については、現行相当サービスとし、事業者をみなし指定して実施すべきと思うがいかがか。

**答** 現段階で移行できるサービスは、予防給付の指定事業者による現行相当サービスのみのみとなる。そのことから、要支援認定者が

利用している事業所のみならず指定は必須となる。

**問** 事業の上限額についてはサービスの利用抑制はないのか。

**答** 総合事業のサービスの利用制限については、介護予防の観点からも、必要な方に必要なサービスを提供することは必要不可欠であることから、サービスの抑制は現在のところ考えていない。

**問** 厚生労働省例示の多様なサービスのなかで、住民ボランティアの責任の問題はないか。

**答** 現行相当サービス以外のサービスについては、基本的には専門性が必要なサービスは含まれていない。指定事業所等との契約によるサービス提供が条件となるので、ボランティア個人

の責任問題とはならない。

**問** 総合事業の移行に当たっては、実態を十分把握し、移行後も同じサービスが継続利用できるよう決めることが必要。利用者の選択の保障、ボランティア等への押し付けは行わないか。

**答** 必要な方に必要なサービスを提供するため、予防給付を実施している各事業所に対して、総合事業への理解と移行を促進し、利用サービスの選択に関しては、本人の希望を尊重しながら、適切なサービス利用につなげていきたい。

**問** 国からの今後の課題、要介護1、2の切り捨てや、利用者負担の2割への引き上げの問題について、2025年の団塊の世代の問題、介護、暮らしと福祉をどうされるのか。

**答** 圏域市町との情報連携の体制を一層活かしながら、次期事業計画の策定、さらには2025年問題に向けて、できるだけ早い段階で取り組みを開始し、より良い方向で町の介護保険を運営していきたい。



(介護保険事業も行う社会福祉協議会)

## ・観光行政について



ほり たくみ  
堀 匠 議員  
(一問一答)

**問** 昨年、白浜温泉には宿泊客数約206万人、日帰り客数約138万人で前年比110.8%と多くの観光客が訪れた。今後の観光策、どのように観光客の誘致に取り組んでいくのか。

**答** 昨年度に策定した「白浜温泉街活性化構想推進計画」(重点施策11、基本施策24)の実施し、足腰の強い観光地白浜になるようにしていきたい。

**問** スポーツ合宿の取り組みについて、どのような施策支援策を考えているのか。

**答** ほかの市町より施設の老朽化、施設使用料が高いことを指摘されているので、使いやすくするために、利用者への補助制度、施設利用料の減免制度を設けていく。

**問** 旅行業者を訪問の際、屋外競技場が不足との指摘

を受けた。多目的競技場の整備が必要と考えるがいかがか。

**答** 市町がおのおのの施設の特色を生かしており、当町もほかの市町と競合しないような今ある現状の施設

を最大限利用していくことが最善であり、現状では整備は困難である。

**問** 昨年のインバウンド客の数字は約9万7千人と過去最高の数字となった。さらなる外国人旅行者の増加

が見込まれるにあたり、今後どのような受け入れ誘致を考えているのか。

**答** インバウンドも団体から個人旅行に中心が変わりつつあるので、個人向けの細かい情報発信が重要となってくる。外国人観光客がどのようなものを好むか等も調査、分析し、さらなる誘致活動に取り組んでいきたい。

**問** 観光客の動態調査について、実数に近い数を把握するための取り組みはいかがか。

**答** 現状は、白浜温泉旅館協同組合等から実数をいただき、それ以外は、宿泊施設数、マンション数等に係数をかけて算出している。今後は、実数をより、把握できるように観光協会加入の旅館、民宿への実数の報告のお願いをしていく。



(スポーツ合宿での活用が期待される総合体育館)



ふるく ぼ けいぞう  
古久保 恵三 議員  
(一問一答)

- ・ J R 白浜駅のバリアフリー化について
- ・ 湯崎第三天山町有源泉について
- ・ フィッシャーマンズワーフ白浜について

**問** 歴史ある国内有数の温泉地白浜の玄関口の J R 白浜駅にいまだに、バリアフリー化としての「エレベーター設置」がされていない現状を町長はどう捉えているのか。今後、どのような政治手腕をもって推し進めていくのか。

**答** 観光地白浜の玄関口である白浜駅のバリアフリー化は必要であり、町としても、今後、積極的に取り組んでいきたい。

**問** 昭和40年に緊急危険回避の目的で温泉法に基づいた許可申請なしにホテル側私有地にて掘削工事を進め、事後的に許可が認められた事実。その後、土地所有者であるホテル側から温泉利用許可申請が提出されたが、県の判断として、この温泉は、「公共的利用に供する」として、源泉の所有者は町となった。このよ

うな過去の歴史のなかで、私有地に町が源泉を所有する行為は法律上、許されないと思うが、町の見解はいかがか。

**答** その当時、県、町、土地所有者、地元ホテル社長の4者で協議をおこない、公共利用に供することを県が土地所有者に申し入れし、土地所有者もこれを了承した。

**問** 昭和50年動力装置許可申請を提出するが、現在まで県は認めていない。平成22年に設置許可されていないまま、源泉に動力装置が設置されていた目的と理由を伺う。また、揚湯試験の調査結果に対する利用目的を伺う。

**答** 危険回避のために温泉を海へ放流する目的での動力の設置である。6日間、揚湯試験をおこない、無理

のない数字を出した。有効利用していきたい。

**問** 3月議会会で可決されたフィッシャーマンズワーフ白浜の初期投資費用2千330万円の支払い先はどこで、いつ支払ったのか。

**答** この施設を運営している団体名義の口座へ3月25日に支払った。

**問** 協定書の第17条1項リスク負担区分表による「運営上必要な初期投資、資金確保」は指定管理者負担と設定しているが、間違いなか。

**答** 確かに資金調達、運営上必要な初期投資費用の確保となっているが、施設運営していくなかでの約束なので、今回の負担は抵触しない。

**問** 浮桟橋維持管理料として、3年間、計1千56万円の支払いに対する作業日報、現場作業写真は、公金の支出としては、不備だと思うが、当局の見解はいかがか。

**答** 浮桟橋維持管理の委託でなく、漁業振興施設全体の指定管理料として支払っているが、今年度から別に業務委託するので、指摘を踏まえて進めたい。

**問** 浮桟橋清掃業務委託として予算化した384万円の委託業者は決定したのか。

**答** 漁業振興施設の指定管理者にお願したい。法的に問題がないか分析して取り組みたい。

## ・学校の統廃合について



丸本 安高 議員  
(一問一答)

**問** 6月9日川添活性化支

援センターで、市鹿野小学校の統廃合に係る説明会が開かれた。説明会で配布された教育委員会の資料では、昨年10月から今年5月まで計4回の会議をもっており、それらの会議で教育委員会は、市鹿野小学校の廃校を決断、6月9日の説明会でその旨の発言があった。行政が地域住民の十分な理解を得たとは思えない。統廃合を一方的に進めるやり方は、住民軽視していると思うがいかがか。

**答** 教育委員会では、これ

までも、いきなり学校の統廃合を進めるのではなく、事前にその地域の学校の現状や今後の児童生徒数の推移について、関係者の皆様に説明してきた。また、学校の統廃合は、今後の児童生徒数や学級数、教員数の推移を考慮しながら、児童生徒等の安心、

安全の確保、学習環境の保障の観点から、総合的に判断する必要があると考えている。特に三舞中学校区は、平成26年度から、安居小学校と三舞中学校の校舎共有とあわせて、小中学校、育友会と協議を進めてきたという経過がある。

**問** 平成27年1月、文部科

学省が出している公立小中学校統廃合の手引きによると、「保護者や地域住民と共通理解をはかりながら、統合の適否を考える必要がある。また、学校規模の適正化、適正配置の検討について、学校教育の受益者である生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子どもの保護者の声を重視しなければならぬ。」とある。区民への説明は6月9日が初めてであり、議会に話もない。就学前の保護者にも統合について何も話を聞いていない。進め方が乱暴ではないか。

**答** 教育委員会では、個人

情報の関係もあり、就学事務に必要な5歳児の名簿しか把握していない。そのため、地域への説明会を開催

して、就学前の児童の保護者に限らず、地域住民の皆様のご意見を広く伺いする機会を設けている。



(地域への影響が懸念される廃校予定の市鹿野小学校)



くすもと たかのり  
楠本 隆典 議員  
(総 括)

## ・地域医療構想とはまゆう病院の

### 今後の課題

**問** 地域医療構想について、県は現在の病床の稼働率、今後の高齢者の人口推移等をもとに国のガイドラインに沿って2014年時点の必要病床数を推計したとしている。地域医療構想（パブリックコメント案）に対して寄せられた意見、県の考え方等について、インターネットで検索したが、49項目について意見があった。町、はまゆう病院はどんな意見を具申されたのか伺う。

**答** 地域医療構想を策定するに当たり、県が、各二次保健医療圏単位で圏域別検討会を設置した。この田辺保健医療圏構想区域検討会に、町及びはまゆう病院も構成員の立場で参画し、地域医療構想策定に向けた検討、意見交換を重ねてきたところである。

検討会のなかでは、はまゆう病院からも、「医療に

は効率があるため、一定の規模が必要で、人口が少ない地域だとしても効率の悪い面が生じ、医療的、経済的なロスが出る。そのロスを明瞭化し、地域の方々の理解を得るため、このような検討会等で今後10年かけてお互いに情報交換して、連携と役割分担をしていけばよい」といった意見が出された。

**問** はまゆう病院との懇談会においても副理事長よりビデオを使用した講演を聞き、はまゆう病院の現状と課題を聞いて、これからの地域医療の難しさを痛感したところであるが、はまゆう病院と連携した取り組みを早急に進めていかなければならない。

人口減少にともなう諸課題、療養型病床群のベッド数の削減、ベッド数の減少は病院の収入に大きく影響する。

はまゆう病院の経営安定は、当局はもとより町民の願いであり、債務負担行為を行う町にとって、僅々の課題である。

地域医療構想に対して町とはまゆう病院が連携して課題解決に向け取り組む基本姿勢と今後の対策について伺う。

**答** 今後、地域医療構想の実現に向けた取り組みが進

められることとなる。

医療分野での病院運営の変革と今後進んでいく在宅医療の推進のなかで、介護分野などの町としてすべき役割を明確にし、はまゆう病院と連携して、地域に密着した病院を時代に対応した運営と健全経営ができるよう、体制づくりの構築に向け、取り組んでいきたいと考える。



(地域医療拠点の白浜はまゆう病院)

## ・耐震化ではなく新庁舎の建設を



みなみ かつや  
南 勝弥 議員  
(一問一答)



(ひび割れがある現庁舎)

**問** 資料によると「老朽化の著しい現庁舎は大規模改修により延命化をはかっても長期にわたる使用は困難である。また、事務の拡大やOA化等にもなう狭隘化など多くの課題に対するためにも速やかに建て替えに向けた取り組みを行う必要がある。10年後をめどに新庁舎が開庁できるようにしたい。その間における現庁舎の耐震化対策として、必要最小限の暫定的な工事を行うものとする。しかし、延命化をはかっても、どの

程度の安全性を担保できるのか。また、現庁舎の抱える問題点の根本的な解決につながる「と庁舎に関して報告されている。しかしながら、今までも、せめて建設予定地だけでも早く決めたいと答弁していたのに話もまったくない。一時しのぎの耐震化よりも超低金利下の今、借りて新築するほうが長期的にみれば安上がりで庁舎の根本的な解決になるのではないか。20億円借りても自治体の場合、0.2%程度で借りられると聞いている。20億円でも年間400万円の利子で済むし、富田事務所、そのほかを統合すれば、人件費も削減できると考えるがいかがか。

**答** 耐震補強工事における庁舎の安全性に関しては、平成24年度に実施した耐震診断結果により、本庁舎の旧館がIS値0.27であり、

新館がIS値0.29と示されたところである。通常、IS値に関しては、0.6以上であることが基準として示されているが、公官庁施設、学校施設等は、より安全性が考慮され、IS値0.7以上を確保することが望ましいとされている。今回の耐震工事では更に、IS値0.75以上を目標に耐震補強工事を実施するこ

ととしている。また、新庁舎の整備にあたっては、その財源確保のため、平成26年度より計画的な基金の積み立て開始したところである。新庁舎の建設にあたっては、候補地選定や各施設との統合など、議論しなければならぬ諸課題もあるが、今後、できる限り早い段階で方向性を示したいと考えている。



(老朽化著しい現庁舎裏手側)



みくら けんじ 議員  
三倉 健嗣  
(一問一答)

## ・被災後の復旧復興に備えることについて

**問** 先般「全国地震予測地図」が公開された。和歌山

においては、今後30年間で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は57%と書かれている。当地方の地震には津波がついてくる。町は、津波ハザードマップ等で初期避難場所を示し、町内会や自治会を通して、地域防災を呼びかけ、避難道の整備を行っているが、大規模災害後の復旧復興工事で収集した瓦礫やゴミの仮置き場と最終処分場の確保については、どのように考えるのか。

**答** 仮置き場の検討にあたっては、避難場所や仮設住宅用地との関係、また道路等の状況も含めて総合的に判断していく必要がある。被害状況や処理見込み量を把握し、公有地を中心に仮置き場を設置していくことになると考えている。

**問** 平成23年の12号台風による紀伊半島豪雨で浸水した地域への防災対策の経緯

と取り組みで、当時の当局の答弁では、「富田川の河川敷内の砂利の採取の必要性」を言われ、検討の協議を進めていくとのことであった。その後、一部の砂利は採取したように仄聞するが、なぜすべての砂利採取ができないのか。県への要望だけではなく、町もこのことに対して、土捨て場の確保等の対応について講じるべきだと考える。

**答** 河川管理者の県に対し、富田区長会の統一要望として郵便橋周辺から下流域の流れを阻害する葎や雑木の伐採と堆積土砂の撤去及び河口部の浚渫等について継続要望をしており、昨年度末までに約2万2千500立米の土砂を撤去していただいております。今後も引き続き実施してい

ただく予定になっている。

※このほか、三倉議員は地域振興について質問しました。



(庄川付近の河川敷内にたまる富田川の砂利)

# 議案第63号及び第68号の審議について

当局から提案された議案第63号「土地の処分についての議決の変更について」について質疑、討論を行い、採決の結果、賛成少数により否決しました。

また、議案第68号「白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）議定」についても質疑、討論を行い、採決の結果、賛成多数により可決しました。

採決においての賛成者及び反対者、討論については次のとおりです。

## 議案第63号（土地の処分についての議決の変更について）

|                        |                |                |                         |
|------------------------|----------------|----------------|-------------------------|
| 採決結果                   | 否 決            | 賛成者 6人         | 反対者 7人                  |
| 賛成者                    | 辻 成紀<br>長野 莊一  | 西尾 智朗<br>堀 匠   | 丸本 安高<br>三倉 健嗣<br>楠本 隆典 |
| 反対者                    | 古久保 恵三<br>南 勝弥 | 水上 久美子<br>玉置 一 | 廣畑 敏雄<br>岡谷 裕計          |
| ※議長（溝口 耕太郎）は採決に加わりません。 |                |                |                         |

### 反対討論要約

#### 三倉議員

この案件に係る中地区官有地の払い下げについて、請願が平成27年11月30日、紹介議員2人を持って提出され、議会では全会一致で請願の趣旨を一部採択した。当局からその後、この案件について、対応したことの報告が、我々にあるべきではないのか。それがないままに、案件が上がってくることで、議会軽視ではないか。このことから、この提案について反対する。

今ひとつは金額について、広範囲にわたる土地の払い下げにおいては、加減率というのがあり、道路であったり、緑地帯であったり、公園であったりという部分を要する。そういうことで加減率が適用されていると私は解釈している。事実、宅地造成した場合にはそういうことがおこっている。今回の払い下げの対象地は2万3千平米以上あるが、道路は一応ある。個々に払い下げする対象の部分という広範囲でないと私は解釈する。そういうことから、加減率の適用をして金額を出すことについて、もう少し協議する余地があるので、反対する。

#### 古久保議員

昨日の夕方まではこの議案は延ばすべきでない、金額の問題ではない。私は素直に長年の歴史のなかで終結したいと思っていた。当局にも一番大事なのは地域の方々との膝詰め談判、これができたうえで賛成だと申し入れていた。それが、昨日、いろいろな方から電話などで意見をいただいた。値段の設定もおかしいし、こんな払い下げをしたら遺恨を残すと言われた。

私はこういう大きな問題に關わって、勉強不足のなかで、皆様方の意向もわからず判断する。判断基準というのは当局側の説明、それと地元の方の思いを受け入れている判断になるかと思う。

私の気持ちとしては最終的にはもう少し地域の方々と話をし、今回でなしに9月までにもう一度、地元の方々と話をし、皆様方と腹わって一度、話を聞いてみたい。私は今までそれができていない。地元の方々とつながりもない。皆様方と話をさせてください。

そういう意味で、今回の提案については反対する。

### 賛成討論要約

#### 廣畑議員

私は中地域に居住するものとして、この議案に賛成する。当局の説明については、いろんな資料を調べながら答弁をされているが、議会軽視という話は私自身も思う。

しかし、一番困っているのは、当事者の方。当事者の方と一緒に町がよく考えて、話をして、解決をしようという気持ち。今回、さまざまな努力のなかで、この標準値の価格が再考されてきた。一番困っているのは、居住地等の土地の使用者の方々である。早く解決していただきたい。

このことが議決されたとしても、万々歳ではない。このことは皆様ご存知のことだと思ふ。基本は払い下げを受ける者と町がどう合意していくのかということであると思う。ここから次の問題が展開していく。そういう意味でこの議案について、なんとしても可決していただきたい。

## 長野議員

賛成の立場から討論をする。

この土地の処分については、平成25年6月20日の本会議において可決され、議会からも機会あるごとにこの課題の早期の解決を求めてきた。このことは、町当局も同じ思いであり、ましては払い下げ関係者の方々は、まさに切望されているのではないかと。

昭和37年に町が関係者から付託を受けて、取り組んできたこの官有地の払い下げは、国、県との協議だけをとっても50年という半世紀を越える年月が経過をしている。

議会で一度議決した事案ではあるが、払い下げ関係者の方々の大半が改正後の価格や賃借料、また手続き等について基本的に理解を示されているということである。

今後、価格や条件を提示していくなかでも個々に事情はあるとは思いますが、私は払い下げ関係者の熱い思いを受け止めて、一日でも早く払い下げ関係者の期待に応えていただきたい。そして、残る土地の有効な活用を見出して、中地区の住環境の向上や地域の活性化をぜひはかっていただきたいという思いから、賛成をする。

## 議案第68号（平成28年度白浜町国民健康保険事業特別会計

### 補正予算（第1号）議定について）

|      |     |                          |        |
|------|-----|--------------------------|--------|
| 採決結果 | 可決  | 賛成者 11人                  | 反対者 2人 |
|      | 賛成者 | 辻 成紀 西尾 智朗 古久保 恵三 水上 久美子 |        |
|      |     | 三倉 健嗣 長野 莊一 岡谷 裕計 南 勝弥   |        |
|      |     | 玉置 一 楠本 隆典 堀 匠           |        |
|      | 反対者 | 丸本 安高 廣畑 敏雄              |        |
|      | ※議長 | （溝口 耕太郎）は採決に加わりません。      |        |

## 反対討論要約

### 廣畑議員

システム改修委託料。これは県への統合のためのシステムであると説明を受けた。以前の説明でも統合していくなかで、現在の段階ではまだ国保税の一本化をしないということであったが、やはり財源というのか、たいがいこれだけ困っている、今高い国保税を払わないといけないなかで、そういったことについて、もっと議論が深められていく必要があると思う。平成30年に統合と言われていたが、こうしたシステム、もっと町民に明らかにしていくなかで意見を聞きながらすべきであると思う。従って、この補正予算に反対をする。

## 自治功労者表彰

去る5月25日、和歌山県町村議会議長会第68回定期総会において次の方々が表彰され、6月14日の定例会冒頭で伝達式を行いました。

### 自治功労者

○議員として11年以上在職

（順不同、敬称略）

辻 成紀  
丸本 安高



（表彰を伝達された議員）

# 町議会・町議会議長の主な動き (4月1日～6月30日)

|      |                         |
|------|-------------------------|
| 4月2日 | 田辺市消防庁舎開庁式、消防指令センター開所式  |
| 5日   | 第1回臨時議会                 |
| 14日  | 議員懇談会                   |
| 17日  | 議会広報特別委員会               |
| 29日  | 白浜町交通指導員総会              |
| 5月3日 | 海来館創業記念式典               |
| 10日  | 合併10周年記念イベント泡ピーチin南紀白浜  |
| 13日  | 白浜町環境保全協議会総会            |
| 22日  | 第3回南紀白浜トリアスロン大会         |
| 25日  | 日置川町商工会通常総会             |
| 26日  | 第68回和歌山県町村議会議長会定期総会     |
| 29日  | 白浜町交通安全対策推進協議会          |
| 30日  | 西牟婁郡町村議会議長会総会           |
| 6月7日 | 白浜町シルバー人材センター定時総会       |
| 31日  | 第48回砂まつり大会              |
| 7月   | 第40回全国町村議会議長、副議長研修会（東京） |
| 14日  | 議会運営委員会                 |
|      | 紀南地区海上安全対策協議会総会         |
|      | 第2回定例会（第1日）             |

## 議会の傍聴にお越しく下さい

次回の9月定例会は

**9月6日（火）**

から開催予定です。

傍聴については事前申し込みの必要はなく、会議当日、受付簿へ住所、氏名の記入で傍聴できますのでお気軽にお越しください。

ホームページの議会録画配信の映像上、傍聴席が背景の一部として映りますので、ご了承ください。

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 14日 | 議会運営委員会            |
| 15日 | 富田共有財産組合委員会        |
| 22日 | 第2回定例会（第2日）        |
| 23日 | 議会運営委員会            |
| 24日 | 第2回定例会（第3日）        |
| 27日 | 第2回定例会（第4日）        |
| 28日 | 議会運営委員会            |
| 30日 | 総務文教厚生常任委員会        |
|     | 大辺路施設組合議会          |
|     | 第2回定例会（第5日）        |
|     | 全員協議会              |
|     | 白浜町南紀白浜空港利用促進期成会総会 |

## 編集後記

観光地白浜にとって、一番忙しい季節を迎えました。

6月議会においても、観光客をお迎えする対応策について活発な議論が交わされたところです。

さて、4月から議会の録画配信を開始し、より多くの皆様に議会の審議内容をご覧いただけるようになりました。

当委員会としましては、より深く理解をしていただくために、親しみやすい紙面づくりを心がけていくところです。

また、今後の議会のあり方や紙面の内容についても、皆様のご意見を賜れば幸いです。

### 議会広報特別委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 玉置 一  |
| 副委員長 | 堀 匠   |
| 委員   | 西尾 智朗 |
| 委員   | 丸本 安高 |
| 委員   | 廣畑 敏雄 |
| 委員   | 南 勝弥  |